

「高校生のための学びの基礎診断」への申請について

2021年 6月 30日

| | | | | | | |
|-------------------------|---|----------------|---|----------|-------|-------|
| ①事業者名 | 株式会社ベネッセコーポレーション | | | | | |
| ②測定ツール名 | スタディープログラム | | | | | |
| ③主な対象者 | 主に、四年制大学・短期大学等への進学を希望する高校2年生 ※特に、高等学校教科書例題レベルの基礎学力定着を確実にしたい高等学校 | | | | | |
| ④対象教科 | 国語 | 数学 | 英語 | ⑤測定内容の区分 | 基本タイプ | 標準タイプ |
| | ○ | ○ | ○ | | | ○ |
| ⑥申請する測定ツールの目的・概要 | <p>【目的】 高等学校履修範囲における国語・数学・英語の基礎学力の定着を目的とした教材で、日常的な学習習慣づくりと基礎学力の定着を支援する学習・指導ツールと診断ツールを一体的に提供します。</p> <p>【概要】 「スタディープログラム」は、学習ツール（分野・単元毎の学習プリント、学習動画）と診断ツールが一体となった教材です。学習ツールとしては、国語・数学・英語の基本的な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」の習得を確実にするため、分野・単元別のプリント教材と学習をサポートする学習動画を提供します。診断ツールとしては、国語・数学・英語それぞれ既習範囲の分野・単元の学習定着度を測定するため、年間3回の実施期間毎に進度に応じた出題範囲・内容で測定を行います。また、学習状況調査で受検者の学習状況を診断します。</p> | | | | | |
| ⑦申請する測定ツールの特長・活用例等 | <p>【特長】 学習ツール（分野・単元毎の学習プリント、学習動画）は、各教科の学習系統に基づいて教材を設計しており、授業進度にあわせて体系的に基礎学力の定着を促します。また、付属する学習動画により、受検者自身による自学自習をサポートします。診断ツールは、年間3回の実施期間があり、各回で出題範囲・内容が異なります。国語・数学・英語の出題は、マーク式問題と記述式問題をあわせた構成で、それぞれ既習範囲の分野・単元から網羅的に出題をすることで、学力定着度合を測定します。また、学習状況調査により日常での学習の取り組み度を診断します。 年度毎の新作問題ではなく、同一問題を毎年出題することで、学年間の経年比較などが行えます。これにより、学年・クラス等の集団における習得状況・つまづき把握を指導改善につなげることができます。診断結果は段階別評価で提供することで、受検者自身が学習の積み上がり度合を確認できます。また、個人・学年単位の苦手分野・単元の診断結果とあわせて提示する学習ツール（学習プリント、学習動画）を学習改善・指導改善に役立てることができます。これによりPDCAサイクルの構築に繋げることができます。</p> <p>【活用例】 授業進度に応じて、分野・単元の導入やまとめのタイミングでの理解度の確認に学習プリントを活用できます。授業時間内での活用のほか予習・復習や課題としても活用できます。特に分野・単元の導入では、これからの学習事項のつまづき要因となりやすい既習範囲の振り返りに役立てられます。また、診断ツールを年間最大3回実施し、学力と学習の観点で現状や変容の定点観測を行い、診断結果を指導改善や指導計画へ反映することができます。</p> | | | | | |
| ⑧実施期間、年間実施回数 | 実施期間：第1回（3月-5月）、第2回（8月-10月）、第3回（12月-1月） ※出題内容は各回で異なるため、年間3回までの受検が可能。 2022年度は2年生のみの提供予定 | | | | | |
| ⑨実施方式 | すべてPBTで実施 | | | | | |
| ⑩試験時間 | 国語 | 数学 | 英語 | | | |
| | マーク式・記述式問題：50分 | マーク式・記述式問題：50分 | マーク式・記述式問題：50分 (リーディング・ライティング・リスニング) 学校採点のスピーキング問題：5分 | | | |
| ⑪受検料 | ¥6,120円 ※消費税等込 ※「スタディープログラム」年間利用料として、診断3回までの受検を含む。 | | | | | |
| ⑫標準返却期間 | 1回め：マーク式結果＝解答用紙到着後、約2週間で返却（データ） 2回め：マーク式と記述式をあわせた結果＝解答用紙到着後、約1か月で返却（紙） | | | | | |
| ⑬URL(事業者のHPにおける測定ツール紹介) | https://bhsobenesse.ne.jp/ ※教員専用URL | | | | | |